

教科 芸術 科

科目	書道 I	学年・コース	1 学年	コース	単位数	2 単位	区分	選択必修	
学習の目標		主体的に書道の幅広い創造活動に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。							
教科書		光村図書「書 I」							
補助教材等									
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間	
一 学 期	4	漢字の書 1. 漢字の変遷とさまざまな書体 2. 文字の造形を学ぶ 楷書 虞世南「孔子廟堂碑」 欧陽詢「九成宮醴泉銘」 褚遂良「雁塔聖教序」 顔真卿「顔子家廟碑」			国語科「書写」と芸術科「書道」の違いを知り、多彩な書の美に親しむ。 5つの書体とさまざまな用筆を古典から学ぶ 伸びやかな点画や向勢がもたらす穏やかな書風 直線的で鋭い点画や背勢による厳格な書風 行書的な抑揚ある用筆による軽やかな書風 肉太の点画や蚕頭燕尾による重厚な書風			2 3 3 3 3	
	6	行書 王羲之「蘭亭序」 空海「風信帖」			多様な字形と流れの中に抑揚を利かせた用筆 安定した字形と重厚感のある用筆			3 3	
	7	草書 智永「真草千字文」 葉書 実用書			点画の省略と連続と捉え、柔らかな用筆 暑中見舞い			3 8	
	二 学 期	8	隷書 「曹全碑」			扁平な字形と蔵鋒から波磔へのゆったりとした用筆			5
		9	篆書 「泰山刻石」			縦長の字形と均一な線の太さ、筆圧を捉える			5
		10	3. 構成を学ぶ						1
		11	4. 創作する			これまでに学んだ古典を生かして創作			5
12		仮名の書 1. 仮名の成立と種類 2. 文字の造形を学ぶ 「蓬萊切」 3. 構成を学ぶ 「高野切第三種」 4. 創作する			中国から伝わる漢字の音を借りて書き表す (万葉仮名、草仮名、女手) 連綿、平仮名と変体仮名による表現の工夫 意連と形連、墨継ぎ箇所による墨の潤濁 短歌作成後、短冊に創作			1 3 3 5	
三 学 期	1	漢字仮名交じりの書 1. 伝達から表現へ			詩文(詩・短歌・俳句・小説・歌詞など)を題材 漢字と仮名の調和			1	
	2	2. 創作する			自由な構成			10	
	3								

評価の観点	知識・技能	創造的な書の表現をするために必要な技術を身につけているか。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、表しているか。
	思考・判断・表現	造形的な良さや美しさを考えているか。表現の意図があるか。 創造的な工夫をしているか。発想力、構想力があるか。
	主体的に学習に取り組む態度	書道や書文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組んでいるか。 用意や後片付けまで責任を持ってきちんと行っているか。